

令和6年度 南丹市学校提案型まちづくり活動交付金 申請事業概要

No.	事業名 (学校名)	事業内容	事業費	交付 申請額
1	社会福祉施設を拠点とした地域と学生の地域連携BCP（事業継続計画）を通じた防災まちづくりプロジェクト (明治国際医療大学)	・背景と課題 高齢化が進み、都市部のように居住が密ではないため訪問（医療・看護・介護）ケアが必要とされるだけでなく、拠点となる社会福祉施設の重要性が増している。2024年度から介護サービス提供機関における事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の策定、訓練・研修が義務となった。 BCP策定は、福祉業界内での連携はあったとしても地域住民との関係性は希薄であり、南丹市においても課題とされてきた。 ・実施概要 先進事例の視察・調査とシンポジウム講演協力者依頼 社協、施設周辺住民を対象に、BCPの見直しと図上/実訓練の開催（3回） 社協、施設周辺住民を対象に、BCPの課題を検討する勉強会の開催（3回） 外部講師を呼び、先進事例の知見と課題を共有するシンポジウムの開催	200,000	200,000
2	総合的な交流の時間2024 (京都府立大学)	・背景と課題 小、中、高等学校、大学における総合的な学習の時間、総合的な探求の時間などのPBL（課題解決学習）が地域創生を進めていくにあたり注目されているが、地域の人々に十分に知られているとは言えず、小中高大の取組がそれぞれ分断され、お互いに知られないまま進んでいるという課題がある。 ・実施概要 小中校大のPBLの文献調査・先進事例調査 イベント「総合的な交流の時間2024」の実施 研究室、南丹市内の小中高校のPBL、域外の学校のPBLの先進事例の発表、交流、専門講師による講演	200,000	200,000